

2025 年度 山形県山岳連盟 定時総会 議事録

日時 令和 7 年（2025 年）3 月 15 日（土）13 時 00 分～15 時 30 分

場所 大江町中央公民館「ぶくらす」 2 階 多目的ルーム

1. 開会のことば

高橋副会長より開会の挨拶があった。

2. 会長あいさつ

大滝会長より県内各地からご出席いただいた評議員の皆さまに感謝の意が述べられた。会長職を 4 年間務めてきたが、76 歳となり、今回の総会をもって退任する旨が伝えられた。今後の県岳連の更なる発展を願い、各団体の意見を伺いながら議論を進めたい旨の挨拶があった。

3. 会議成立の確認

事務局より、出席評議員数は 18 名（実出席 9 名・委任 9 名）であり、定足数 18 名の全員出席により会議が成立している旨の報告があった。

4. 議長選出

事務局より、長井山岳会 鈴木俊一氏の推薦があり、満場一致で承認された。

5. 議事録署名人の選出

事務局より、大江山岳会 木村誠氏の推薦があり、承認された。

<議長登壇・開会宣言>

6. 報告事項（菅野事務局長より説明）

報第 1 号：加盟団体・個人会員の退会について

【退会団体】 東根山岳会

【退会個人会員】 ① 土谷 実氏 ② 齋藤 淳一氏

常任理事会議決事項により承認済であることの報告

報第 2 号：JMSCA 情勢および県岳連における現体制移行後の経緯について

○JMSCA の情勢について

令和 4 年度までの大幅な赤字に対して、令和 5 年度は改善策を講じたが、再び負債を抱える状況となった。現在、財政再建・組織再編に向け、経費削減に努めている。

○県岳連の現体制移行後の経緯について

2021 年（令和 3 年度）

事務局の地区持ち回り制を廃止し、県全体を一組織とした体制に見直し。理事に加盟団体代表を起用するなどして組織活性化を図った。

2022 年（令和 4 年度）

SC 競技関連団体の退会により競技継続が困難に。JMSCA や県スポーツ協会に報告し協議を進める中、全国的な課題として JMSCA の対応が始まった。「山形スポーツクライミング連絡会」が活動を引き継ぎ、県岳連に加盟。

2023 年（令和 5 年度）

連絡会の加盟により、選手の出場が可能となった。これを契機に「登山部門」と「SC 競技部門」に分けての運営体制へ移行。JMSCA の 2022 年度赤字決算問題が表面化し対応に関する方向性を協議してきた。

2024 年（令和 6 年度）

加盟団体の退会対応や JMSCA の動向、翌年度役員体制の選考委員会設置、規約改正などが承認された。

質疑応答後承認された。

7. 議 事

議第 1 号：2024 年度 事業報告

登山部門（菅野事務局長より報告）

年間事業結果が報告され、春の東北六県連絡協議会は主に登山関係、秋の東北ブロック会議は SC 競技を中心とした協議となっている。第 25 回県民登山は小国山岳会が主管での開催等が説明され、質疑応答後全会一致で承認された。

SC 競技部門（青山副会長より報告）

国スボ競技に関する実施結果と秋に審判資格の取得を兼ねた東北ブロック会議の報告があり、質疑応答後全会一致で承認された。

議第 2 号：2024 年度 収支決算報告および監査報告

登山部門（高橋清徳会計担当より報告）

常任理事会での指摘を反映した修正後の決算報告があった。

SC 競技部門（青山会計担当より報告）

特別会計の収支報告があった。

監査報告（佐藤英明監査員より報告）

登山部・SC 競技部ともに適正との報告があった。

監査報告後「本会計」と「SC 特別会計」について一括して質疑応答、全会一致で承認された。

議第 3 号：2025 年度 事業計画（案）

登山部門（菅野事務局長より報告）

以下の項目を含む事業計画案が提示され、承認された。

- ・ 基本方針（規約第3条）
- ・ 事業活動（規約第4条）
- ・ 重点強化事業
- ・ SC 競技県予選会の開催
- ・ 第26回県民登山の開催
- ・ 年間事業計画

SC 競技部門（青山会計担当より報告）

議案資料に基づく計画案が提示され、承認された。

<評議員からの要望・補足説明>

県民登山の実施について（寒河江山岳会・工藤評議員）

過去の実施方法について情報提供の要望があり了承された。

高体連事業の修正について（横澤普及部長）

以下の3点について提案があり承認された。

- ① 春季地区大会は未定。
- ② 秋季地区新人大会：9月20～21日に開催。
- ③ 冬季予定の指導者講習会は夏に移行。

議第4号：2025年度 収支予算（案）

登山部門（高橋会計担当より説明）

予算案が提案され承認された。尚、加盟団体の会員数変更等の報告について依頼があった。

SC 競技部門（青山会計担当より説明）

補助金額未定のため補正を重ねながら秋の常任理事会で正式予算を提出予定として提案は承認された。

議第5号：2025年度 役員改選

説明者：吉田登山部長

より実行性のある組織体制として提案され、質疑応答後承認された。

補足事項：

- ・ 監事候補について（高橋副会長より）

空席監事に田辺孝一氏（鶴岡山岳会）の推薦があり、承認された。

- ・ 新年度役員について

異動等により変更があれば事務局への報告について依頼あり。

- ・ 寒河江山岳会会長交代について（工藤評議員）

4月の総会で粕谷会長から工藤氏に交代予定。副部長の後任も検討必要。

- ・ 規約に基づく組織体制について（菅野事務局長）

役員体制の活性化に向けて規約との整合も必要との提言あり。

・関連動議について

役職に関連した規約・規定改定等については新体制で精査する旨を確認した。

8. その他

(1) 専門部および委員会からの報告

① 自然保護委員長の申し送りについて（代弁：菅野事務局長）

自然保護指導員は JMSCA の公認資格となっておりますが、これまで研修の実施がなく、更新制度も確立されておりました。今後、JMSCA では資格保有者を増やすための方策を検討しており、県岳連の皆さまにもこの趣旨にご理解とご協力をお願いしたいとのことです。

補足説明：井上理事長

事務局長の説明に加えて一点補足いたします。飯豊山の山頂において、気象観測および動植物の観測機器を設置する計画があります。これは北海道大学の工藤先生の構想によるもので、県岳連としても関与のあり方を検討してまいります。

② 指導員研修会の開催について（吉田登山部長 説明）

指導員研修会を 5 月 25 日（日）に長井市内にて開催予定であり、新任の金田登山部副部長を中心に準備を進めております。研修内容はファーストエイドを予定しており、指導員資格の更新要件に該当する研修となります。県岳連加盟の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

③ 遭難対策委員会報告（渡部遭難対策委員長 説明）

ア. インバウンド登山者について

全国的にインバウンド登山者による遭難事故が発生しており、本県でも先週、蔵王にて外国人登山者の遭難が発生しております。今後、関係機関と連携しながら対策を進めてまいります。

イ. 登山届について

登山届の提出促進について、現在、県警および「コンパス」と連携を進めており、主にピストン登山を対象に、登山口に掲示された QR コードをスマートフォンで読み取り、氏名を入力するだけで届出が完了するシステムを試行中です。今後、県山岳遭難対策協議会とも連携して展開していく方針です。

ウ. 来年度の人事について

来年度の役員人事については、行動可能な人材を核として選出しております。今後、4 つの委員会が連携して講習会を開催し、活動の活性化と加盟団体とのつながりの強化を図ってまいります。

エ. 高体連との連携について

高校生による雪山登山が禁止されている現状を踏まえ、雪と接する体験を高体連と連携して提供する方策を検討しています。また、県内の高校登山部に在籍している生徒数は 200 名弱にのぼり、県岳連の取り組みを生徒に理解してもらう機会を設け、卒業後も地域の山岳会へ加入して活動を継続できるよう、取り組みを強化していきたいと考えてお

ります。

④ 今後の事務局方針について（井上理事長）

今年度の事業計画において「重点強化事業」として、SNS ネットワークを活用した事務作業の分散および効率化が掲げられております。今後、役員の皆様への連絡は、原則としてメールまたはLINEを活用し、郵送による連絡は極力控えたいと考えております。

また、経費削減および業務効率化の観点から、理事会および総会の開催は可能な限りハイブリッド方式（Zoom会議併用）としたい方針です。

⑤ 地域活性化方針に関する情報提供

今年度も山形県では、県内山岳振興を目的とした各種取り組みが始動しております。県岳連の皆様にも、地域活性化へのご協力をお願い申し上げます。

⑥ 寒河江山岳会創立 25 周年記念行事について（寒河江山岳会・工藤評議員 説明）

5 月 11 日（日）午後より、寒河江山岳会創立 25 周年記念式典を開催いたします。講演会では医師・野口いずみ氏を講師にお迎えし、17 時 30 分から祝賀会も予定しております。祝賀会には県岳連会長ならびに各加盟団体の代表者にご案内を差し上げます。開催案内については、3 月 17 日にチラシを配布し、参加を呼びかける予定です。

<鈴木議長より、議事終了宣告>

9. 閉会のことば（井上理事長）

本議事録は 2025 年 3 月 15 日に開催された 2025 年度山形県山岳連盟定時総会の議事内容及び承認事項に相違ありません。

2025 年 3 月 15 日

議事録署名人（議長）

鈴木 俊一



議事録署名人（代表）

木村 誠

